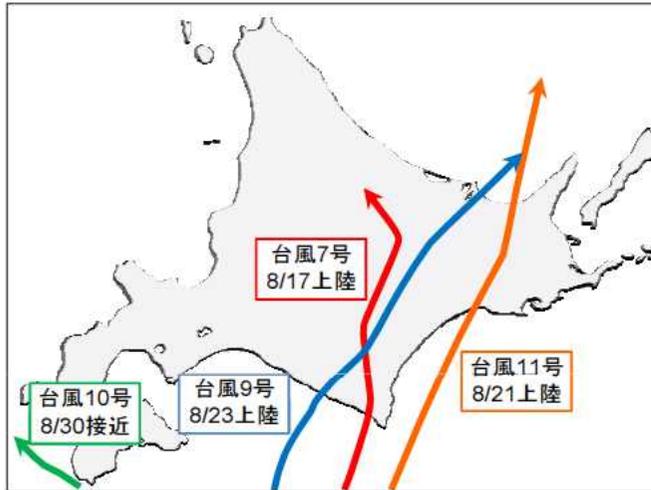


平成28年8月の大雨による
出水状況について

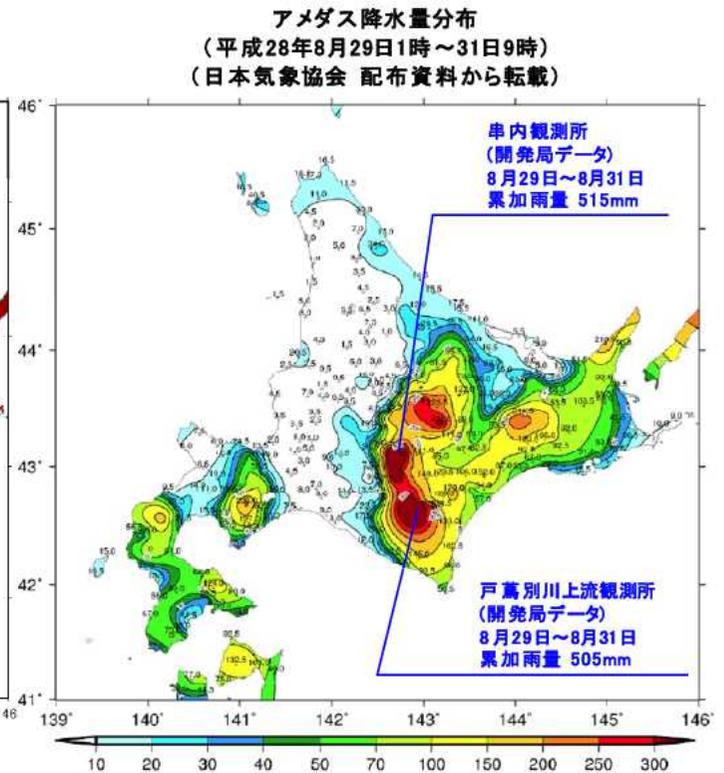
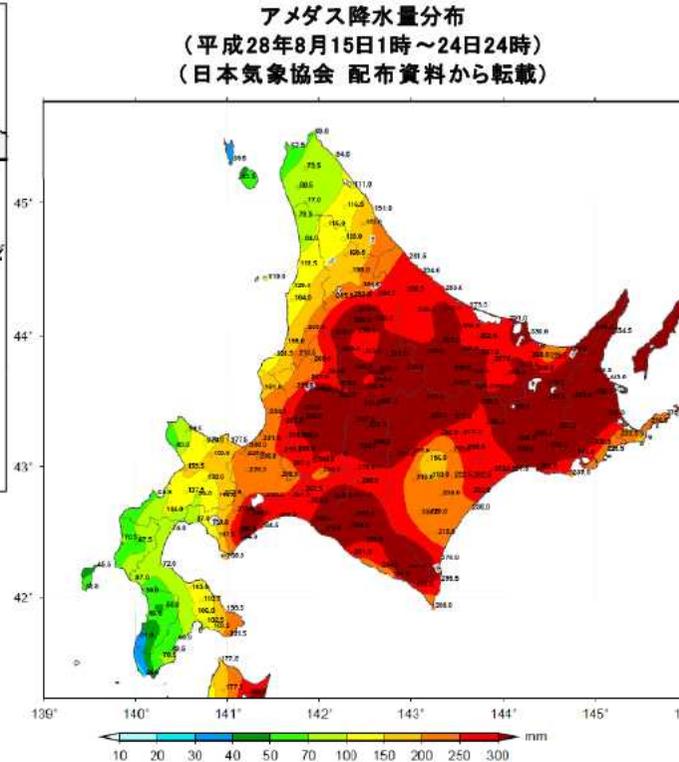
今夏の大雨をもたらした気象の概況について

「平成28年8月北海道大雨激甚災害を踏まえた水防災対策検討委員会(第1回)資料-3より抜粋

■8月17日～23日の1週間に3個の台風が北海道に上陸し、道東を中心に大雨により河川の氾濫や土砂災害が発生した。また、8月29日から前線に伴う降雨があり、その後、台風第10号が北海道に接近し、串内観測所では8月29日から8月31日までの累加雨量が515mmに達するなど、各地で記録的な大雨となった。



台風第7号・第11号・第9号・第10号 経路図



◆道内の主要な地点における年降水量の平均値(mm)

地点名	年降水量の平均値(mm)	統計期間	地点名	年降水量の平均値(mm)	統計期間
札幌	1106.5	1981～2010	釧路	1042.9	1981～2010
函館	1151.7	1981～2010	帯広	887.8	1981～2010
小樽	1232.0	1981～2010	網走	787.6	1981～2010
旭川	1042.0	1981～2010	北見	763.6	1981～2010
室蘭	1184.8	1981～2010	留萌	1127.0	1981～2010

8/16～8/31の雨量観測について
 ・串内観測所(空知郡南富良野町) 総雨量 888mm
 ・戸蔭別川上流観測所(北海道帯広市) 総雨量 895mm

※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

今夏の大雨をもたらした気象の概況について

「平成28年8月北海道大雨激甚災害を踏まえた水防災対策検討委員会(第1回)資料-3より抜粋

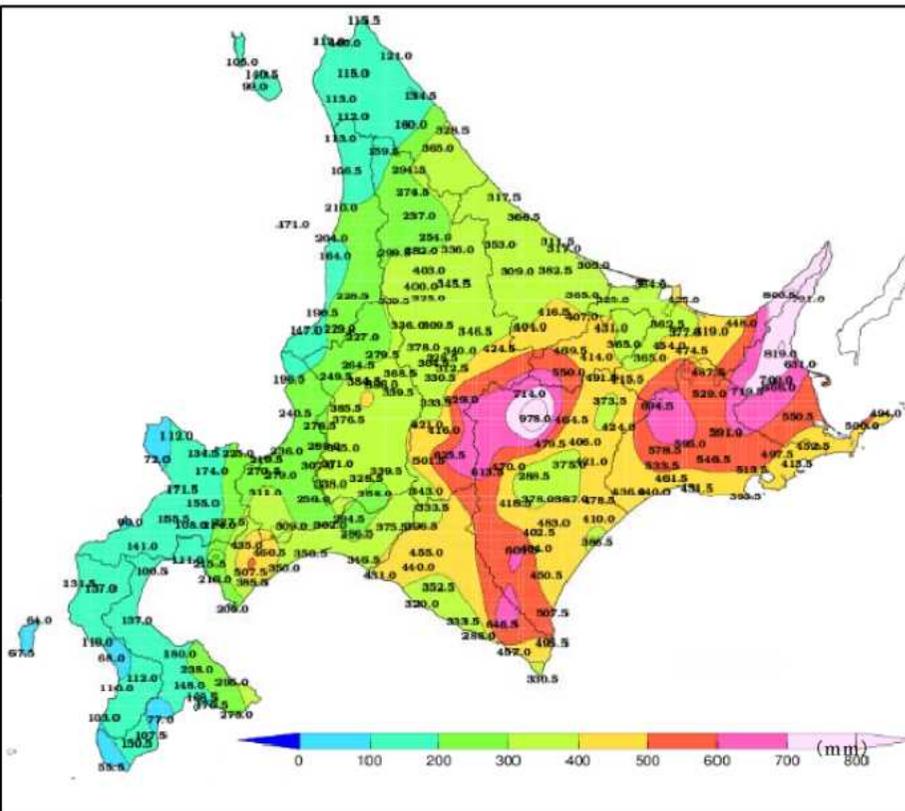
平成28年8月の北海道の降水の状況

■道内アメダス225地点中“89地点”で月の降水量の極値(1位)を更新し、道東の太平洋側の広い地域では平年の2~4倍となる500ミリを超える降水量となった。

※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

平成28年8月の北海道の月降水量

<月降水量(多い方から)の極値を更新した地点(上位20地点)>



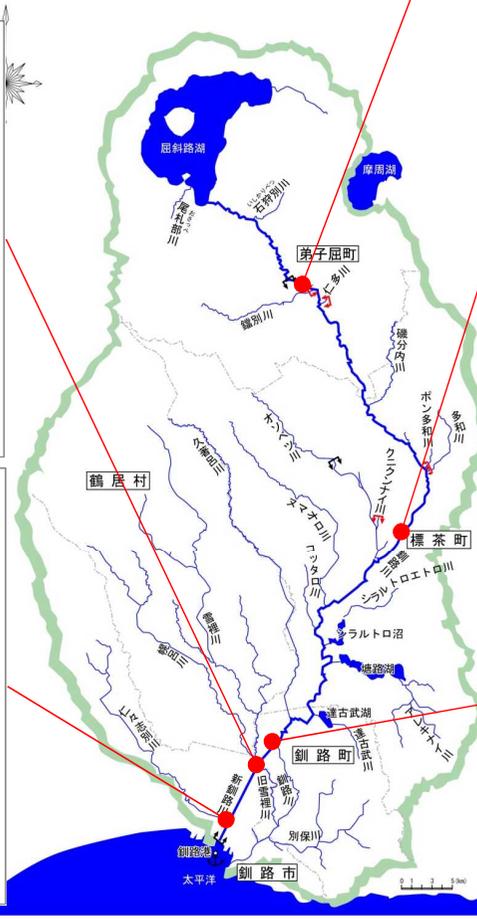
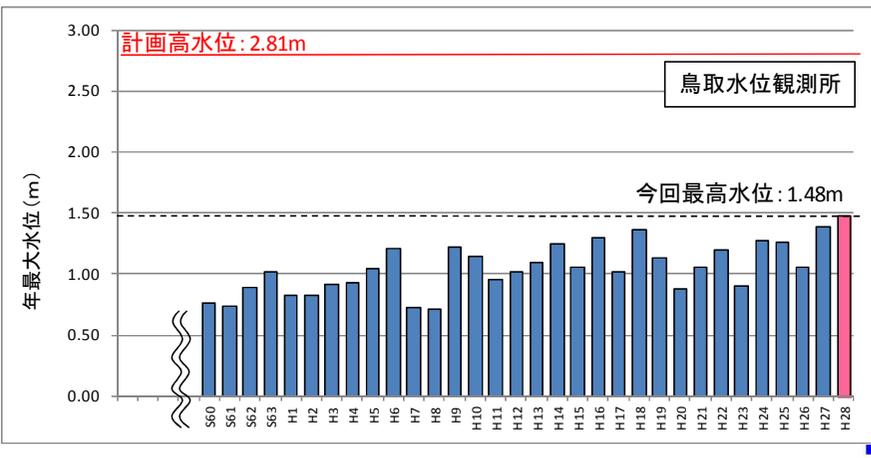
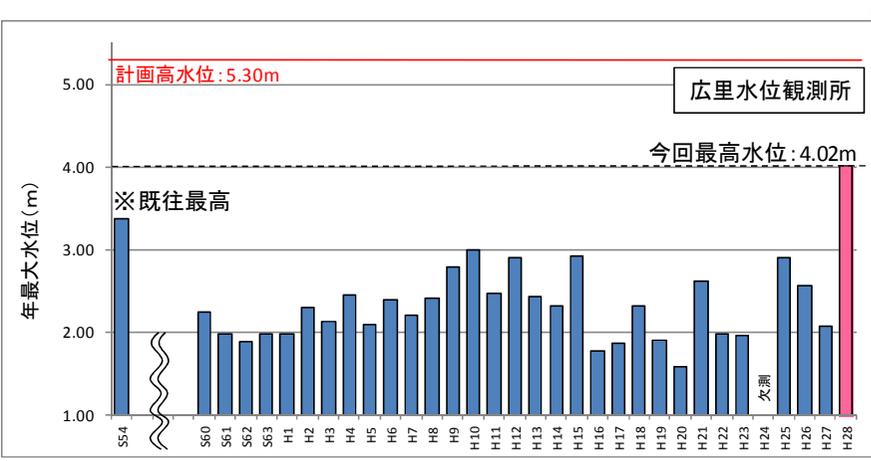
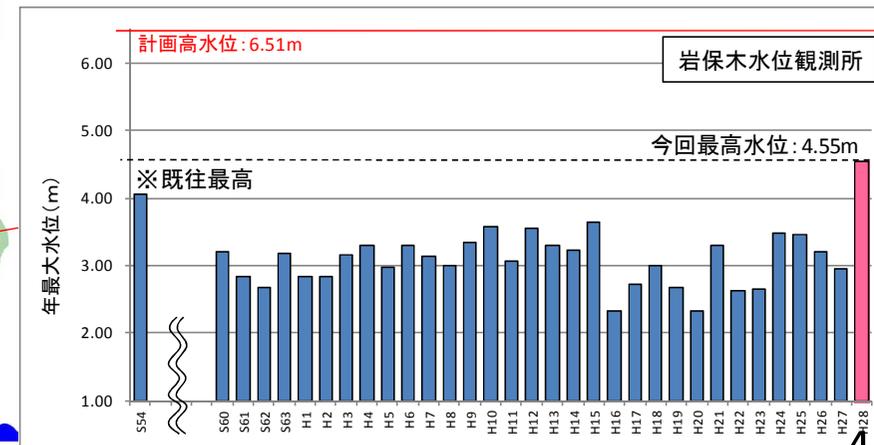
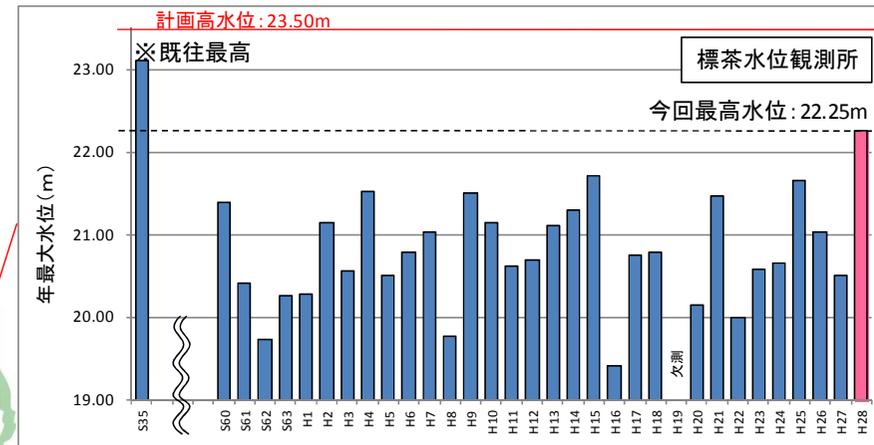
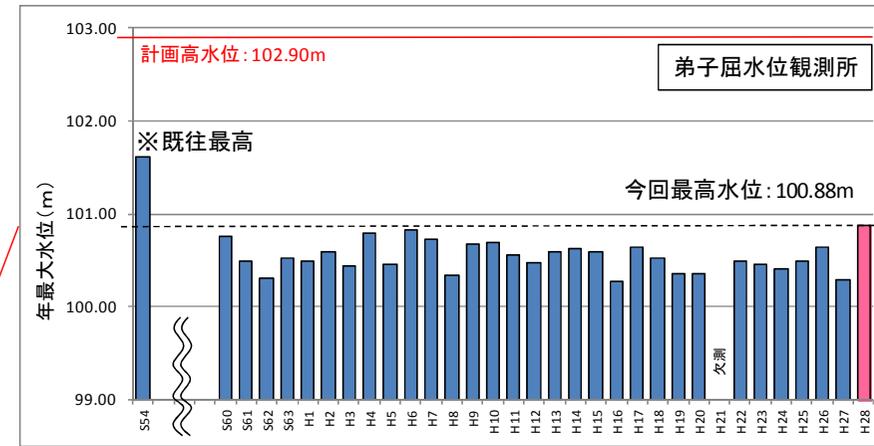
		1位(2016年8月)	2位	1位と2位の差(比)	8月の平年値(比)	
1	げんせんきょう ぬかびら湧泉郷 (十勝)	978.0 mm	575.0 mm (1981年 8月)	403.0 mm (170%)	197.9mm	(494%)
2	いとくしべつ 糸梯別 (根室)	819.0 mm	477.0 mm (1994年 9月)	342.0 mm (172%)	169.5mm	(483%)
3	うとろ 宇登呂 (オホーツク)	800.5 mm	507.0 mm (1981年 8月)	293.5 mm (158%)	119.3mm	(671%)
4	らうす 羅臼 (根室)	791.0 mm	392.5 mm (2012年11月)	398.5 mm (202%)	----	(----%)
5	かみしべつ 上標津 (根室)	719.5 mm	278.0 mm (2009年 7月)	441.5 mm (259%)	----	(----%)
6	みつまた 三股 (十勝)	714.0 mm	354.5 mm (2011年 9月)	359.5 mm (202%)	----	(----%)
7	ねむろなかしべつ 根室中標津 (根室)	700.0 mm	344.0 mm (2009年 7月)	356.0 mm (203%)	136.2mm	(514%)
8	あかこんはん 阿寒湖畔 (釧路)	694.5 mm	451.0 mm (1981年 8月)	243.5 mm (154%)	152.2mm	(456%)
9	なかしべつ 中標津 (根室)	666.0 mm	345.0 mm (1994年 9月)	321.0 mm (193%)	147.8mm	(451%)
10	なかきわうす 中札臼 (日高)	646.5 mm	590.0 mm (1981年 7月)	56.5 mm (110%)	246.1mm	(263%)
11	しべつ 標津 (根室)	631.0 mm	359.0 mm (1992年 9月)	272.0 mm (176%)	137.8mm	(458%)
12	しろがね 白金 (上川)	629.0 mm	421.5 mm (2011年 9月)	207.5 mm (149%)	179.7mm	(350%)
13	いくとら 幾良 (上川)	625.5 mm	343.0 mm (2001年 9月)	282.5 mm (182%)	161.7mm	(387%)
14	しんとく 新得 (十勝)	613.5 mm	455.0 mm (1981年 8月)	158.5 mm (135%)	196.7mm	(312%)
15	かみさつない 上札内 (十勝)	601.5 mm	594.0 mm (1981年 8月)	7.5 mm (101%)	188.9mm	(318%)
16	つるい 鶴居 (釧路)	595.0 mm	360.0 mm (1998年 8月)	235.0 mm (165%)	129.0mm	(461%)
17	しべつ 標茶 (釧路)	591.0 mm	371.0 mm (1992年 9月)	220.0 mm (159%)	136.7mm	(432%)
18	なかしべつ 中標津 (釧路)	578.5 mm	345.0 mm (2000年 4月)	233.5 mm (168%)	167.3mm	(346%)
19	べつかい 別海 (根室)	550.5 mm	408.0 mm (1992年 9月)	142.5 mm (135%)	141.5mm	(389%)
20	おけとつねもと 置戸常元 (オホーツク)	550.0 mm	267.0 mm (2006年 8月)	283.0 mm (206%)	----	(----%)

) : 観測値は欠測あり。

札幌管区气象台提供資料より転載

釧路川の水位の状況

- 釧路川地方では、停滞する前線の影響により、8月20日から各地で雨が降り続き、8月21日には台風第11号の影響により釧路川流域に強い雨が売り続いた。
- 特に、標茶水位観測所で避難判断水位を超えるなど岩保木観測所、広里観測所、鳥取観測所で既往最高水位となった。



国管理河川の主な被害状況

「平成28年8月北海道大雨激甚災害を踏まえた水防災対策検討委員会(第1回)資料-3より抜粋

地理院地図
(電子国土Web)

台風第9号による大雨
石狩川水系石狩川(深川市、旭川市)
・溢水
・浸水面積 約120ha 浸水家屋 6戸



8月20日から続く大雨
常呂川水系常呂川(北見市)
・堤防決壊 1箇所 越水4箇所
・浸水面積 約215ha



台風第10号による大雨
石狩川水系空知川(南富良野町)
・堤防決壊 2箇所
・浸水面積 約130ha 浸水家屋183戸



台風第10号による大雨
十勝川水系札内川(帯広市)
・堤防決壊 2箇所
・浸水面積 約50ha 浸水家屋2戸他



50 km

主な道路橋梁被災について②

「平成28年8月北海道大雨激甚災害を踏まえた水防災対策検討委員会(第1回)資料-3より抜粋

■国道においても多数の橋梁被害が発生した。

国道273号 高原大橋の被害状況



国道274号 千呂露橋の被害状況



国道38号 小林橋の被害状況



国道38号 太平橋の被害状況



釧路川の主な被災、対応状況

- 道路や住宅浸水(床下)が発生、各地で内水による浸水被害が発生。
- 河川の増水による河岸決壊や堤防法面の被災が発生し、応急対策を実施。
- 内水排除のための排水ポンプ車による活動は標茶町2箇所、釧路市1箇所を実施。



浸水した町道(標茶町)



堤防被災箇所の応急復旧(標茶町)



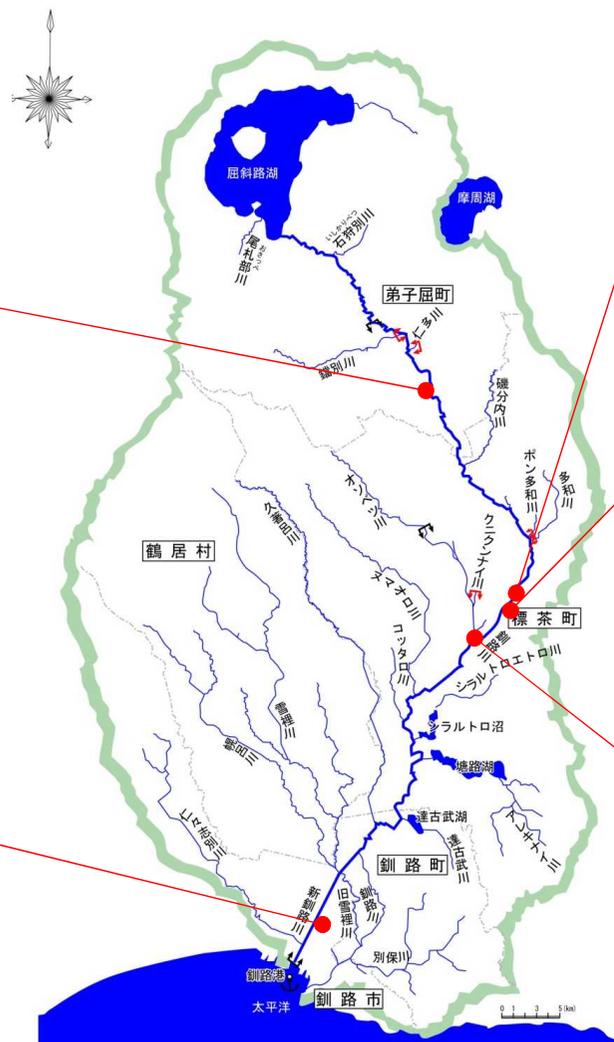
内水排除の状況(標茶町)



増水に伴い決壊した河岸(弟子屈町)



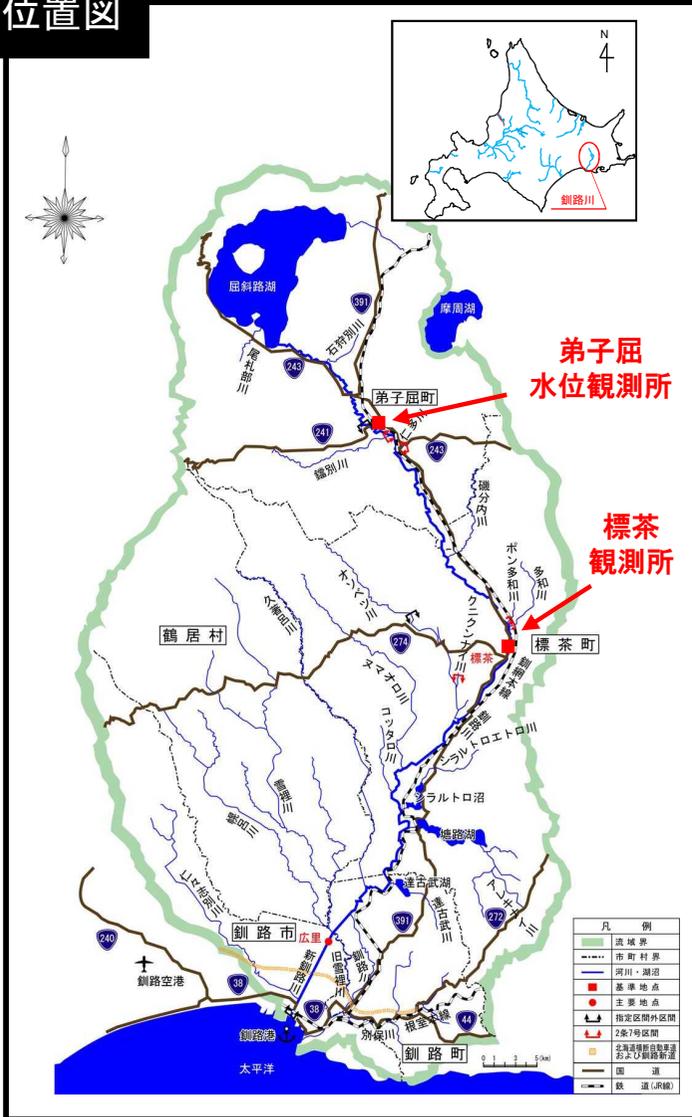
内水排除の状況(釧路市)



水位低減効果の事例

- 釧路川では、洪水を安全に流す河道断面を拡幅する河道掘削を実施。
- 弟子屈地区では、河道掘削前と比べ約70cmの水位低減を図った。

位置図



河道掘削箇所(現在も実施中)

■ 弟子屈市街地の河床を掘削し、洪水時の水位低下を図っています。

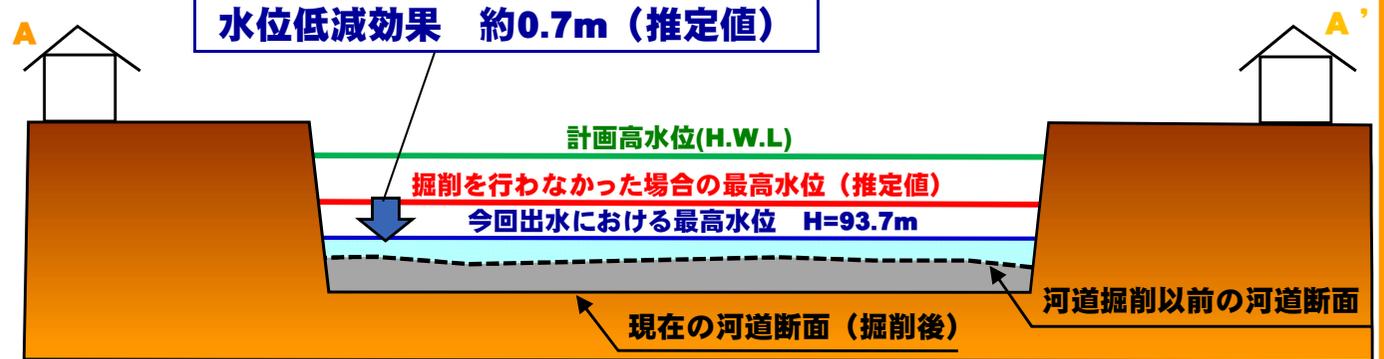


※写真は河道掘削実施前のもの (H19年撮影)

掘削による水位低減効果

釧路川KP73.0 (弟子屈市街地)

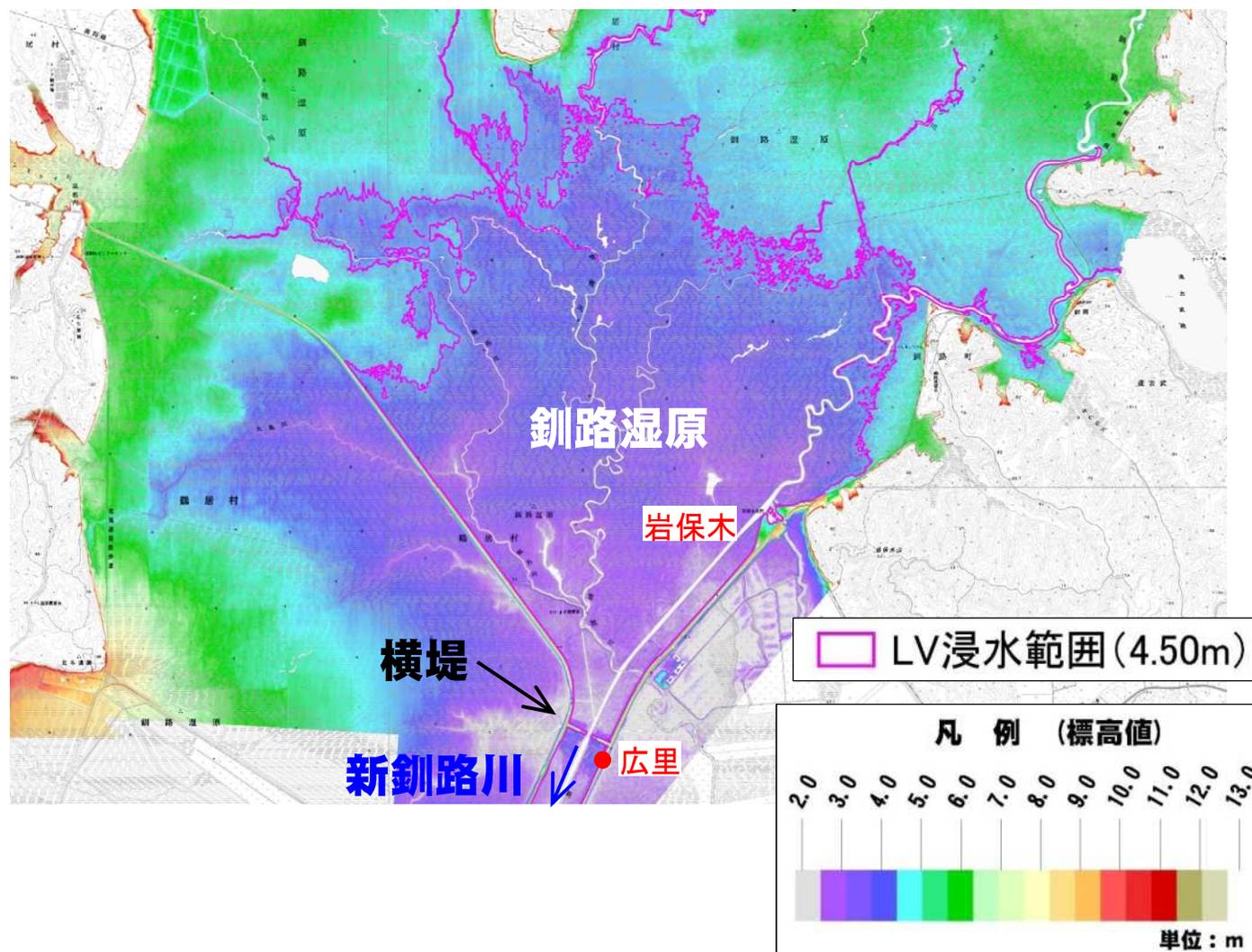
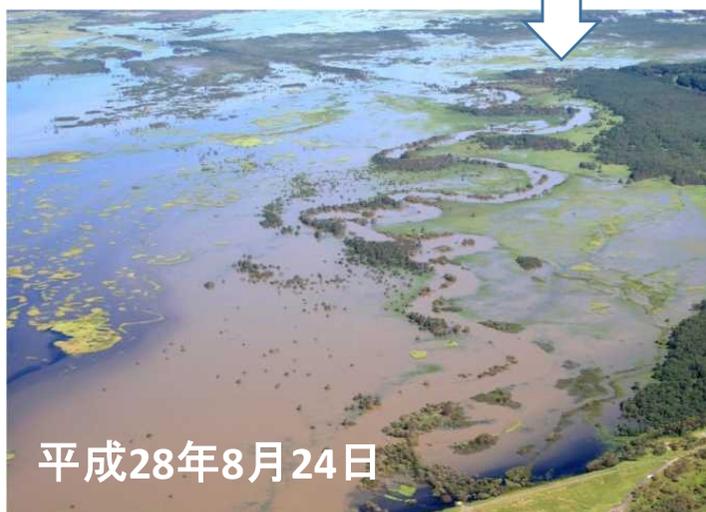
水位低減効果 約0.7m (推定値)



※速報のため、数値等は変わる可能性があります。

釧路湿原の遊水効果

- 釧路湿原では湿原が持つ遊水効果により湿原に入る水量より少ない水量が新釧路川に流出された。
- 新釧路川では、釧路湿原の貯留効果をさらに高めるため、横堤を整備。
- 今回の試算では、釧路湿原に約2.1千万m³の水量(東京ドーム約17杯分)を貯留し水位低減効果が見られた。



※速報のため、数値等は変わる可能性があります。

減災の取組事例

8月の大雨を経験した児童らと釧路川の防災学習を行いました

平成28年9月23日、標茶小学校の6年生を対象に「釧路川の減災を考える学習」を開催しました。

- ◆はじめに、河川事務所職員による講座で、①標茶町の8月の大雨のおさらい、②テレビから得られる雨量情報の勉強、③他の地域の大雨被害の様子などを学びました。
- ◆その後、「大雨が降ったときにとるべき行動」をテーマに、グループごとに意見交換を行い、「大雨がふったときにとるべき行動」について班ごとに意見を出してもらいました。児童からは、「日ごろから非常持ち出し品を用意する」、「冷静に行動する」、「川に近づかない」などの意見が出されました。

児童の発表の様子



グループごとの意見交換の様子



実際に大雨を経験した児童たちにとって、今回行った防災教育は日常からの備えや災害発生時の行動について理解を深め、防災意識を高める有意義な学習機会となりました。